

短期研修報告書

記入 | 2016年 3月
所属&学年 | 工学部 1年生

留学先大学 (国名)	チュラロンコン大学 (タイ)
短期研修のプログラム名	タイにおける日系企業のグローバル展開学習
留学した期間	2016年2月11日-2月25日

1. 留学前の準備 (応募のきっかけや動機、申込手続、語学対策など)

大学に入ったら留学をしてみたいと思っていました。そして留学室のホームページを見ていて、NU-OTIのプログラムは内容がたくさんつまっていて魅力的だと思い、東南アジアにも興味があったのでこのプログラムに応募しました。タイはビザを申請する必要がなくそれほど大変な準備はなかったです。語学対策は事前授業で簡単なタイ語を勉強しました。また、タイに関して知らないことが多かったのでよく調べてから渡航しました。

2. 研修内容や学校 (内容と時間数・形態、授業の感想、学生同士の交流など)

授業よりもフィールドワークや日系企業訪問、文化体験が中心の研修でした。

フィールドワーク:自分でテーマを決め、自分で調査方法を決めるという自由な調査です。とても自由なので最初は戸惑いましたが、先生からのアドバイスもいただきながら調査を進めました。簡単な流れを言うと、渡航前にテーマ、調査方法を決めて日本でできる限りのことを調べます。また、現地で訪問したい場所があれば事前にアポを取ります。そして渡航中はアポを取った場所等でインタビュー、観察など調査し、最終的には渡航後に調査内容をまとめて発表します。大変でしたが、フィールドワークを通して、アポの取り方、インタビューの仕方、レジユメのまとめ方など様々なスキルが身につきました。また、自分の関心のあることについて調査できたので面白かったです。

日系企業訪問:銀行、製造業、高校九代理店など様々な分野の日系企業に訪問することができます。自分の専攻以外の職種についてもお話を聞くことができたので貴重な経験となりました。将来海外で働きたいと考えていましたが、それがより身近に感じられるようになりました。

文化体験:アユタヤ遺跡訪問、様々なタイの伝統文化を体験できる施設の訪問、水上マーケット訪問、象乗り、さらにはタイ料理教室を体験することができました。旅行に行くだけではできない経験ができます。

授業:トランスジェンダー、難民など普通の大学の授業ではあまり取り扱われない内容の授業を受けました。特に私はトランスジェンダーへの差別問題を意識したことがなかったので、刺激を受けました。日本でももっと知られる必要があることだと思います。

学生同士の交流:日本人学生一人につき、チュラ大生2,3人がバディとなるバディ制度がありました。バディたちはフィールドワークを助けてくれたり、生活面(食事など)でのサポートをしてくれたりしました。2週間ほぼ毎日会うのでとても仲良くなることができます。自分のバディ以外のバディたちとも仲良くなれました。文化体験のアユタヤ遺跡視察ではバディたちと一緒にいくことができとてもいい思い出になりました。

3. 生活（住環境、食生活や健康管理、金銭管理、持参して良かったものなど）

住環境：当初はホームステイの予定でした。しかし受け入れていただける家族の数が少なく、ホームステイの予定の日には代わりに民宿に泊まりました。ホームステイをととても楽しみにしていたため残念でした。残りの日は寮で生活しました。どちらも室内は清潔感があって過ごしやすかったです。どちらでも洗濯ができましたが、寮は洗濯機の数少なく常に誰かが使っている状態だったため、結局手洗いで洗濯しました。

食生活：全体的に味付けが濃く、辛い物や甘いものが多かったです。レストランで何かわからないものを注文すると、大体辛かったです。辛くないおすすめの食べ物はパッタイ（タイの焼きそば）とチュラ大の学食のフライドチキンです。日本食が恋しいときは、近くのモールに行けばすぐに食べに行けます。

健康管理：十分な睡眠をとるようにしました。おなかを壊すことは特になかったです。ただ日本との温度差が大きいので、そこで少し疲れが出たと思います。滞在中は炎天下では無理して歩かず電車やバスを利用しました。帰国後は急激に冷えたので風邪をひきそうになりましたが根性で治しました。

金銭管理：2週間の生活費は、当時のレート（1バーツ3.2円）で9万円持参したら十分足りました。常に財布には3000バーツほど入れて、残りは鍵をかけたスーツケースの中で保管していました。クレジットカードも持っていましたが、使うことはありませんでした。

4. 危機管理（身を守るために気を付けていたことや危険を感じたことなど）

かばんは常に自分の視界にあるようにしました。暗くなったら大きな通りを、タイ人のパディと一緒に通ったり、タクシーを利用するようにしました。また、道路が混雑しやすく日本の道よりも危険だと感じたので、道路を横断するときは注意しました。

5. 留学を終えて感じること&留学を考えている学生へのメッセージ

留学では旅行だけでは得られない経験ができます。名大にいるうちにしかできない留学のプログラムなので、迷っていただければ幸いです！

6. 研修費用（さしつかえなければおおよその金額を教えてください）

内訳	おおよその額	備考
航空運賃&ビザ申請料	80000円	航空運賃のみ
海外旅行保険	15000円	
授業料（教材費含）	25000円	
滞在費（寮費など）	16000円	
食費、交通費、小遣い	59000円	
通信費	10000円	
計		20万円

自由記述欄 * 現地のおすすめ情報や留学エピソードなどご自由にご利用ください。写真添付なども歓迎します。

↓↓↓

文化体験のタイ料理教室でグリーンカレーやパッタイを作りました。とてもおいしかったです！
また、デザートとして有名なマンゴースティッキーライス（マンゴーと、もち米にココナッツミルクをかけたもの）もおすすめです。

短期研修報告書

記入 | 2016年 3月
所属&学年 | 文学部 1年生

留学先大学（国名）	タイ
短期研修のプログラム名	バンコク研修
留学した期間	平成28年 2月11日～2月25日

1. 留学前の準備（応募のきっかけや動機、申込手續、語学対策など）

大学生になり、何もしていない自分に気づき何かしたいと思い応募しました。

2. 研修内容や学校（内容と時間数・形態、授業の感想、学生同士の交流など）

日系企業の訪問をメインとしながらも、タイの歴史や文化にも触れることのできる研修内容でした。また、タイのチュラロンコン大学の学生さんがバディとしてついて下さり、個人のフィールドワークも充実したものになりました。

3. 生活（住環境、食生活や健康管理、金銭管理、持参して良かったものなど）

宿は初めはホテル、次は寮という流れでした。個人的にはホテルではなく当初予定していたホームステイができれば尚よかったです。寮は立地もよい上、寮生と交流もできました。食生活は、退職以外の食事店も充実していたため不自由することはありませんでした。ただ、見るからに汚い店や生もの系を売っている屋台には気を付けてください。お金は大金を持ってあるかず、その日に必要な分だけを小分けにして持っていくことをお勧めします。ウエットティッシュは持っていくといいです。

4. 危機管理（身を守るために気を付けていたことや危険を感じたことなど）

貴重品は全て腰ポーチに入れ、とられても問題のない物はリュックに入れました。チャイナタウンなど危険な地域は昼でも一人で出歩かず複数人で行動しました。夜は基本複数です。

5. 留学を終えて感じること&留学を考えている学生へのメッセージ

留学は人生においてとてもいい経験だったと思います。個人では決してできない事が留学では密に、しかも安くできます。悩んでいる方はぜひ一度試してもらいたいと思います。2週間という期間や、アジアという立地もお試しにはちょうどいいと思います。また奨学金制度もあるので金銭面がネックな人は調べてみてください。

6. 研修費用（さしつかえなければおおよその金額を教えてください）

内訳	おおよその額	備考
航空運賃&ビザ申請料	9万円	
海外旅行保険	1万3千円	
授業料（教材費含）	?円	
滞在費（寮費など）	?円	
食費	?円	
交通費	?円	
その他（小遣い、通信費など）	?円	
計	20万	円

自由記述欄 *現地のおすすめ情報や留学エピソードなど自由にご利用ください。写真添付なども歓迎します。

↓↓↓

主な観光地はガイドブックに載っているの、乗っていないようなことを紹介したいと思います。まずタイの人はSNSをやっている人が多いので友達になって帰国後も関係を続けられます。また、人柄がとても親切で道を聞くとほとんどの人が答えてくれました。しかし、時々全く行きたかった場所とは違うところに行きつきます。

タイ式マッサージは安いし気持ちがいいのでお勧めです。施設で行くとシリラート死体博物館はネットで検索する数倍はグロイイです。ニューハーフショーはタイならではのとても面白かったです。サイアムミュージアムの民族衣装体験もお勧めです。

タイという国に対しては格差社会だと感じました。日本より発展した高層ビル群でおしゃれな服を着て闊歩する人がいる一方で、蒸し暑い路上に座り込んで物乞いしている人もいました。大都市バンコクなので余計に格差を感じました。他には日本の文化の多さに驚かされました。目に見える文化は日本と変わらない形で取り入れられていますが、日本文化を代表するサービス面は目に見えない分、まだ違いを感じました。これからタイから日本への観光客がさらに増え、日本のおもてなし精神に触れる機会が増えれば、日本のサービス面も取り入れられていくのではないかと思います。

短期研修報告書

記入 | 2016年 4月
所属&学年 | 理学部 2年生

留学先大学 (国名)	チュラロンコン大学
短期研修のプログラム名	タイにおける日系企業のグローバル展開学習
留学した期間	2016年2月11日~25日

1. 留学前の準備 (応募のきっかけや動機、申込手続、語学対策など)

応募のきっかけは、私が一度も海外に行ったことがなかったためこのままでは視野が狭いまま社会に出てしまうと考えたためです。また、この研修ではタイに進出している日系企業の方々に直接お話を聞けるということで、またない機会だと考え、応募を決心しました。

2. 研修内容や学校 (内容と時間数・形態、授業の感想、学生同士の交流など)

タイに進出している日系企業を訪問させていただき、現地で働いている方々に直接お話を聞きました。また、自分でタイに関するテーマを設定し、そのテーマに沿って現地でフィールドワークを行いました。現地では、バディとしてチュラロンコン大学の学生に私たちひとりひとりに付いて、フィールドワークや現地での生活に関してサポートしていただきました。

3. 生活 (住環境、食生活や健康管理、金銭管理、持参して良かったものなど)

食生活はやはり日本とは異なり、口に合わなかったりお腹を壊してしまうこともあります。自分で口に合わなそうなものは避けたり、日本から自分に合う胃腸薬を持っていくなどの対策が必要です。

4. 危機管理 (身を守るために気を付けていたことや危険を感じたことなど)

1番気をつけていたのはパスポートの取り扱いです。小さなウェストポーチを買って、基本的には肌身離さず持ち歩くようにしていました。

5. 留学を終えて感じる事&留学を考えている学生へのメッセージ

日本にいただけでは分からない日本との違いや海外における日本などを直接感じることができました。将来海外で過ごす過ごさないに関係なく、自分の価値観や視野を広げる意味で留学は大きな意味を持つと思います。

短期研修報告書

記入 | 2016年 4月
所属&学年 | 経済学部 4年生

留学先大学 (国名)	チュラロンコン大学(タイ)
短期研修のプログラム名	タイ、バンコク研修
留学した期間	2016/02/11~25

1. 留学前の準備 (応募のきっかけや動機、申込手続、語学対策など)

タイでの日系企業訪問は、海外で働くということはどういうことなのか、働いている方々から直接話を聞け、自分が海外で働くというビジョンを、もっと明確なものにできるいい機会であると思い応募した。またフィールドワークを通して、自分の興味のある事柄について、自分が今まで行ってきた方法ではない手法で学べるのが面白いと思い応募した。事前準備としてフィールドワークの研究内容を決めたり下調べを行った。

2. 研修内容や学校 (内容と時間数・形態、授業の感想、学生同士の交流など)

4日間、7社の企業研修
4日程度の個人フィールドワーク
4コマのタイに関する講義 (タイ語の授業以外は英語)

3. 生活 (住環境、食生活や健康管理、金銭管理、持参して良かったものなど)

タイは物価が安く、屋台なども近くにあるので食べ物には困らなかった。しかし、衛生面と食べ物の辛さにおいて少々問題があった。水や氷などに注意をしてもおなかを壊すので、胃腸薬などは持って行った方がよい。
チュラロンコンの寮はとてもきれいだ、WIFIが部屋で使えないのが難点だった。
パディと連絡を頻繁に取り合うので、個人でWIFIや現地のSIMカードがあると便利。

4. 危機管理 (身を守るために気を付けていたことや危険を感じたことなど)

暗くなってからも繁華街はかなりの人がいるが、外れのほうは街灯も少ないので、できるだけ大きな通りを使うようにしていた。
野良犬が多いので近づかないようにしていた。

5. 留学を終えて感じること&留学を考えている学生へのメッセージ

この研修を経て、海外で働くということについてもっと深く考えるようになった。なかなか駐在員として現地働いている人から話を聞ける機会は多くないと思うので、とても良い経験だったと思う。
この研修は特定の業種に特化した企業訪問ではなく、様々な業種について幅広く見れるのが良いところなので、1~3年生の就職活動前の人にはお勧めである。

6. 研修費用（さしつかえなければおおよその金額を教えてください）

内訳	おおよその額	備考
航空運賃&ビザ申請料	80,000 円	
海外旅行保険	15,000 円	
授業料（教材費含）	0 円	
滞在費（寮費など）	30,000 円	ホテルと寮費
食費	24,000 円	
交通費	15,000 円	
その他（小遣い、通信費など）	56,000 円	各種入場料や体験費などを含む
計	220,000 円	

自由記述欄 * 現地のおすすめ情報や留学エピソードなどご自由にご利用ください。写真添付なども歓迎します。

研修以外にもバディたちといろんなところへ遊びに行きました。



短期研修報告書

記入 | 2016年 4月

所属&学年 | 教育学部 3年生

留学先大学 (国名)	チュラロンコン大学 (タイ)
短期研修のプログラム名	タイにおける日系企業のグローバル展開学習
留学した期間	2週間

1. 留学前の準備 (応募のきっかけや動機、申込手続、語学対策など)

タイの雑貨や雰囲気が好きで、一度行ってみたいと思ったことと、日系企業を訪問できるということで、自分の将来のために活かせるのではないかと思ったから。

2. 研修内容や学校 (内容と時間数・形態、授業の感想、学生同士の交流など)

日系企業訪問では、さまざまな職種の人のお話を聞くことができとても勉強になった。チュラロンコン大学の学生のみなさんはとても親切で、色々なところに連れていってくれたり、タイのことについて話してくれたりした。

3. 生活 (住環境、食生活や健康管理、金銭管理、持参して良かったものなど)

タイの食事は全般的に辛いけど、安くておいしい。ただ、辛いものを食べすぎて、1週間くらいたったときにお腹が痛くなった。粉のポカリスエットを持っていけばよかったと思った。気温が高いので、毎日水を常備した。屋台での食事が多いので、ウェットティッシュは必須だった。

4. 危機管理 (身を守るために気を付けていたことや危険を感じたことなど)

かばんは常に自分の目に見えるところに置くようにした。財布を小分けにしてもっていた。

5. 留学を終えて感じる事&留学を考えている学生へのメッセージ

ただ旅行するのも楽しいけれど、なにか学ぶという目的を持っていたり、現地の人と深く関わったりするほうが必ず心に残ります。

自由記述欄 * 現地のおすすめ情報や留学エピソードなどご自由にご利用ください。写真添付なども歓迎します。

↓↓↓

タイは人もおらかだし、ご飯は安くて美味しいし、日本食もたべられるのでとっても過ごしやすいです。左の写真のココナッツカスタードのトーストは、見た目はちょっと…だけど味は美味しかったです。

右は市場で売っていたフルーツです。何かわからずに買ったらジャックフルーツという果物でした。美味しかったです。屋台で買うのは抵抗があるけど、チャレンジしてみると楽しいです！



短期研修報告書

記入 | 2016年 3月
所属&学年 | 教育学部 2年生

留学先大学(国名)	チュラロンコン大学(タイ)
短期研修のプログラム名	タイにおける日系企業のグローバル展開学習
留学した期間	2/11~2/24

1. 留学前の準備(応募のきっかけや動機、申込手続、語学対策など)

2年生の春休みにどこか海外へ行きたいと思ったのがはじまりでした。しかし、自分で手配して行く海外旅行には不安があり、どうせなら大学で実施されているプログラムを活用しようと思い、応募してみました。フィールドワークなど、はじめてのことばかりで不安でいっぱいでしたが周囲のサポートを得て乗り越えることができました。

2. 研修内容や学校(内容と時間数・形態、授業の感想、学生同士の交流など)

事前授業が何度か行われ、中には丸1日集中講義という日もありましたが、新しいことばかり学ぶことができ、事前授業も楽しむことができました。研修は現地で自分で決めたテーマに基づいてフィールドワークを行う一方で、現地の日系企業へ訪問し直接お話を伺うというとても貴重な体験をすることができました。

3. 生活(住環境、食生活や健康管理、金銭管理、持参して良かったものなど)

日本ほど清潔な環境ではないですが、思っていたよりも格段に都会で、驚きました。食べ物には注意するように言われていたので、安全そうな食べ物を選ぶように心がけていました。何よりも暑いので、水分は必須でした。

4. 危機管理(身を守るために気を付けていたことや危険を感じたことなど)

人混みでカバンの中身がスリにあわないように口を抑えるなど、持ち物に関しては警戒心を持っていました。また夜は絶対1人にならないように気をつけました。

5. 留学を終えて感じること&留学を考えている学生へのメッセージ

私は1年交換留学に行くほどの英語力と度胸がありませんでしたが、短期研修なら気軽に参加できるので、留学を考えていない人にもぜひともおすすめしたいです。

6. 研修費用(さしつかえなければおおよその金額を教えてください)

計 19万円

短期研修報告書

記入 | 2016年 4月
所属&学年 | 農学部 4年生

留学先大学 (国名)	チュラロンコン大学
短期研修のプログラム名	タイにおける日系企業のグローバル展開学習
留学した期間	2016/02/11-02/25

1. 留学前の準備 (応募のきっかけや動機、申込手続、語学対策など)

タイの文化研修と日系企業訪問とフィールドワークができるということで参加を決めた。事前の研修によって、語学対策や社会情勢も勉強できた。

2. 研修内容や学校 (内容と時間数・形態、授業の感想、学生同士の交流など)

文化研修では、タイの歴史、言語、社会情勢やタイのジェンダー問題についての講義があり、ほかにも文化体験施設にてタイの文化を体験した。また、日系企業訪問ではタイで活躍する日系企業を計7社訪問した。チュラロンコン大学の学生が3人ほどバディーとして、手伝いをしてくれて、毎日会っていた。

3. 生活 (住環境、食生活や健康管理、金銭管理、持参して良かったものなど)

最初の5日間ほどは安いホテルに泊まり、その後、チュラロンコン大学の寮である CU iHOUSE に宿泊した。日本食には困らないほど、日本食レストランがあった。しかし、タイ料理を食べたほうがとても安かったので、主にタイ料理を売っているフードコートやレストランで食事した。一食、約600バーツ程度(2400円未満)。持参してよかったものは胃薬。理由は、連続して刺激物を食べ続けたからか、4日目ほどに少しだけ胃が痛んだから。

4. 危機管理 (身を守るために気を付けていたことや危険を感じたことなど)

荷物にはなるべく注意を払い、大きなお金は持ち歩かないようにしていた。夜に野犬がうろついていたので少し危険を感じた。

5. 留学を終えて感じる事&留学を考えている学生へのメッセージ

タイのバンコクは本当に都会で、とても驚いた。文化の違いがあらゆるところで見ることができ、特に食べ物で困ることもないので、初めて海外に行く人でも、旅慣れている人でも十分に楽しめる。また、この研修には日系企業訪問でき、そこで日本にいるときには会えないような人々と会うことができ、話が聞けるのでとても有意義な研修だと思う。さらに、フィールドワークでは見知らぬ土地で、自分で考え実行し調査するという経験ができるので、それもまた醍醐味といえる。

6. 研修費用（さしつかえなければおおよその金額を教えてください）

内訳	おおよその額	備考
航空運賃&ビザ申請料	90000 円	学校が手配した航空券。
海外旅行保険	15000 円	JTB が手配した保険。
授業料（教材費含）	円	
滞在費（寮費など）	円	
食費	30000 円	
交通費	7000 円	
その他（小遣い、通信費など）	円	
計		約 200,000 円

短期研修報告書

記入 | 2016年 3月
所属&学年 | 理学部 1年生

留学先大学 (国名)	チュラロンコン大学
短期研修のプログラム名	タイにおける日系企業のグローバル学習
留学した期間	二週間

1. 留学前の準備 (応募のきっかけや動機、申込手続、語学対策など)

入学時から留学してみたいという思いがあり、留学室の先生にも相談し、一年生のうちに短期留学をしようと思った。このプログラムを選んだのは、英語の勉強だけでなく、フィールドワークや講義などができるから。手続に関しては特に困ることはなかった。語学対策は、対策をしたいというほどの気持ではなかったが、自分の英語力が不安だったので、理学部のG30との交流キャンプに参加したり、開放科目での英語授業を履修したりした。結果としてそのお蔭で現地でも英語で話しかけやすかったし、うまく通じなかった時もあまり動揺しなくて済んだので、日本でそういう経験をしたのはよかった。

2. 研修内容や学校 (内容と時間数・形態、授業の感想、学生同士の交流など)

二週間のうち3日ほどは名古屋大学バンコク事務所で現地の先生による講義があった。ジェンダーやタイの歴史についてなど日本ではなかなか聞けない授業で面白かった。また、べつの4日間は日系企業の訪問があった。海外で働く方の生の声が聴けてとても勉強になった。そのほかの時間はフィールドワークとフリータイムということで、事前にアポを取った方々にお会いして調査を行ったり、チュラロンコンの学生さんたちと観光に出かけたりした。そこでたくさん交流することができたと思う。

3. 生活 (住環境、食生活や健康管理、金銭管理、持参して良かったものなど)

前半はホテル、後半は寮だった。きれい、汚いはあるが困ることは特になかった。食生活は、私は大きく調子を壊すことはなかったが、辛い物が多く日本ほど気軽に注文できない。また、お金などの管理はウエストポーチがとても役立った。

4. 危機管理 (身を守るために気を付けていたことや危険を感じたことなど)

電車以外の乗り物は一人では使わないようにしていた。

5. 留学を終えて感じること&留学を考えている学生へのメッセージ

旅行ではできない、留学でしかできないことは現地で暮らす人と知り合えて、お話しできることだと思います。タイの方々はみな優しく、バンコクはごちゃごちゃしているけれど、一人一人がいい人だと感じて好きになりました。また、私は初めての海外だったので、行く前より格段に世界が近く感じられるようになりました。ほかの国も行ってみたいと思いました。同時に、知らない人とも会って話さなきゃいけないことや周りの人の影響もあって、自分自身アクティブになりました。大学の二週間のプログラムというのは海外初心者にも安心で得るものも大きいと思うので行く価値は大いにあったと思います。

短期研修報告書

記入 | 2016年4月
所属&学年 | 文学部 4年生

留学先大学(国名)	タイ
短期研修のプログラム名	NU-OTI 海外短期研修
留学した期間	2016/02/11~2016/02/25

1. 留学前の準備(応募のきっかけや動機、申込手続、語学対策など)

各自好きなテーマでフィールドワークができると聞き、興味を思った。元より学生のうちに海外に行ってみたくという希望があり、就職活動前ではあるが最後のチャンスと思い、参加を決めた。ラジオによる英会話学習を日常的に行っていた。

2. 研修内容や学校(内容と時間数・形態、授業の感想、学生同士の交流など)

タイ語の授業が最初にあったのがよかった。学部のフェスに誘ってもらったり、学校生活を垣間見ることができた。

3. 生活(住環境、食生活や健康管理、金銭管理、持参して良かったものなど)

急遽用意していただいたホテルも、問題なく使用できた。Wi-Fiを持っていかなかったため、4万ほど通信料がかかってしまった。持参すべき。

4. 危機管理(身を守るために気を付けていたことや危険を感じたことなど)

かばんを見える位置に持っていれば、よっぽどでない限り大丈夫だと思う。

5. 留学を終えて感じること&留学を考えている学生へのメッセージ

フィールドワークは大変なこともあったが、思い切って参加してみてよかったと思う。たくさんの出会いに恵まれ、語学学習への意欲もわいた。かけがえのない経験になった。

6. 研修費用(さしつかえなければおおよその金額を教えてください)

内訳	おおよその額	備考
航空運賃&ビザ申請料	約9万円	
海外旅行保険	?円	
授業料(教材費含)	?円	
滞在費(寮費など)	?円	
食費・交通費・その他	約8万円	
計	17万円	

自由記述欄 * 現地のおすすめ情報や留学エピソードなどご自由にご利用ください。写真添付なども歓迎します。

↓↓↓

初めての海外渡航であったが一人で遠出に挑戦したいと思い、クレット島に片道 2 時間ほどかけて行ってみた（クレット島は他の日に別のメンバーで行ったらしいが、私はフィールドワークで行けなかった）。英語が通じず、船を乗り間違えたりもしたが、無事たどり着くことができた。島は観光地化されている所と、生活圏がはっきり分かれおり、ある意味本当の「タイの姿」を見たと感じた。恭しく「コープンカー」とほほ笑んでくれた焼き物売りのおばあさん、私にタイ語が通じないと分かっているながらも、帰りの船と一緒に待ってくれた女性がとても印象的でした。危険な場所に行かないのは鉄則ですが、たまには集団を離れて冒険してみるのもよい経験だと思います。